化学への転換に乗り遅れ、

字だった。

水俣病は、日本を代表す

策ではなく「不公平」の3文

最初に口にしたのは、国の無

ジン・スミスさん(78年死去)と共に水俣病を世界に知らしめたアイ

「福島第1原発事故は水俣病と似ている」と語るのは、写真家ユー

# リーン・美緒子・スミスさん(61)だ。今回の原発事故と「日本の公 を訴えてきたアイリーンさんに聞いた。 害の原点」との共通点とは何なのか。京都を拠点に約30年間、脱原発 【小国綾子、写真も】

# アイリーン・美緒子・スミスさんに聞く

について、アイリーンさんが 原発事故と水俣病との共通点 「不公平だと思うんです」。 「外車の中から見た光景」。 アイリーンさんの原体験は

のに、セントルイスの田舎で

出たい」と強く感じた。 親の外車の中からだった。こ 母のいる米国へ。日本では「あ み上げる罪悪感。「車の外に いのこ」と後ろ指をさされた 両親の離婚後、11歳で祖父

聞

社は潤った。福島もそう。東

新

得する人と損する人がいる、 造り、電力は東京が享受する。 スもないのに、原発は福島に 京に原発を造れば送電時の口 を水俣に押しつける一方、本 もうけした公害でした。被害 俣を使い捨てにすることで金 る化学企業・チッソが、石油

**个公平な構造は同じです」** 

都市のため地方に犠牲を強

『被害×人口』で考えれ

乗ってくるのを見たのも、父 食べ物を求めて車の上に飛び 間に育ち、60年安保反対のデ 米国人の父と日本人の母との ムの街で貧しい子どもたちが モを見たのも、香港やベトナ 日本で貿易の仕事をしていた 手は私が許さない」。日本へ げ「荒城の月」を口ずさんだ。 の思慕が募った。満月を見上 は「日本人」と見下された。 者の両方の立場に揺れた、そ 害者、虐げる者と虐げられる を嫌う根っこは、加害者と被 「日本を、アジアを見下す相 アイリーンさんの「不公平

った写真家ユージン・スミス んな子ども時代にあった。 結婚後2人で水俣に移住し、 さん(当時52歳)と出会う。 20歳の時、世界的に有名だ

だ。テーブルにA4サイズの るテント村にも泊まり込ん 経済産業省前で脱原発を訴え に〈国・県・御用学者・企業の 点を書いてみました」。題名 今回の福島の原発事故の共通 んは切り出した。 紙2枚を並べ、アイリーンさ 表として何度も福島を訪れ、 大震災後、環境市民団体代 「水俣病と

文部科学省』『いや、原子力 で嫌というほど見てきた、国 情報を意図的に流し、被害者 育でも大丈夫』などと曖昧な れているのに『年間100 り返す。被ばく量には『しき 組みを利用し、責任逃れを繰 安全委だ』と縦割り行政の仕 はっきりさせない。『それは を混乱させる。どれも水俣病 い値(安全値)』がないとさ **營**』だって誰が決めたかすら 指示の基準とする『年間20% たのかも明確にしない。避難 原発事故が誰の責任だっ をきっかけに、一貫して脱原 寝泊まりもした。ユージンさ 写真を撮った。日本語のでき 原発事故(79年)の現地取材 んの死後は米スリーマイル島 患者と裁判に出かけ、 ない夫の通訳役でもあった。 一緒に

発を訴えてきた。

# 責任逃れ「曖昧な情報流 えません」と批判する。 絞り込むための布石としか思 者に対する補償をできるだけ いう結論先にありきで、被害 ばく線量は大したことないと 康管理調査についても、 福島県が行っている県民健

机を蹴られたそうです。みん 緒に頑張ろう』と思うあまり、 は、同僚から『ひきょう者 休んだ福島県の学校の先生 させるため、一時的に職場を だ。「事故直後、家族を避難 痛めているのは、被害者の問 な不安なんです。だから『 に亀裂が広がりつつあること 『逃げるのか』と非難され、 アイリーンさんが最も胸を

3時間にわたるインタビュ

そもそも被害者を分断したの のか。逃げられるのか逃げら 判闘争か。「水俣の被害者も れています。でも、考えて。 れないのか。街に、職場に た今も癒えていません」 込まれました。傷は50年たっ 合わざるをえない状況に追い 見た光景が重なる。和解か裁 は国と東電なのです。被害者 家族の中にすら、対立が生ま いくつもに分断され、傷つけ 福島を離れる相手が許せなく たい。「逃げるのか逃げない だから福島の人たちに伝え 福島の人々の姿に、水俣で

毎

疎地域かもしれない。でもこ

一人一人の命の価値を否

のは大都市で、少ないのは過 ば被害量のトータルが大きい いている、というわけだ。

■水俣と福島に共通する10の手口■ 1、誰も責任を取らない/縦割り組織を

細」に行ら込む 被害者同士を対立させる データを取らない/証拠を残さない ひたすら時間稼ぎをする 被害を過小評価するような調査をす

被害者を疲弊させ、あきらめさせる 認定制度を作り、被害者数を絞り込

10の手口>--別表--とある。

被害者や世論を混乱させ、 論」に持ち込む

海外に情報を発信しない 御用学者を呼び、国際会議を開く

けで100%なのに……」 っては、被害を受けた事実だ 定していませんか。個人にと

利用する

4、 5、

日

# 繰り返してほしくない「被害者の対立

なる

少しでも癒やされたり救われ 両目が強い光を放っていた。 あらためて見つめることで、 立させられてしまった構図を ら逃げた人の両方が、水俣病 す。福島に暮らす人、福島か れでも声を上げようと思いま るのは怖いです」 さんは「これだけは分かって 水俣を、今は福島も見つめる たりしてほしいから」。かつて Cの共通点を知り、互いに対 被害者と向かい合い、発言す いないことを自覚しながら、 苦しみは、その立場に立たな けれど、でも違う。被害者の 界にいると錯覚しそうになる いて私自身、被害者と同じ世 ほしい」と言葉を継いだ。 者を押しとどめ、アイリーン い限り分からない。分かって -の最後、腰を上げかけた記 しばらく黙考した後、 一水俣と福島にかかわって

「『10の手口』は経産省前のテントの中で考えたものです」と語るアイリーンさん

さんは娘と2人、久しぶりの

6年。77年の患者認定基準を、 ったように。 まる……」 また、何十年もの苦しみが始 のはこんな思いだ。「今から ビで見た瞬間、胸に去来した 福島の原発事故の映像をテレ 休養のため、アメリカにいた。 水俣病の公式確認は195 。水俣病がそうだ

てもなお、 と批判している。半世紀たっ は今も「被害者切り捨てだ」 め切ることに対し、患者団体 年成立の水俣病特措法に基づ ぎる」と事実上否定した。 最高裁は2004年、 く救済措置申請を7月末で締 水俣病は終わって

頭に立つのは50代の方々で きたくないんです」 ることしかできない現実を招 いたの?』と問われた時、 う。小さな子どもたちに将来、 だから、福島に行くたびに思 された魚を食べた世代です。 す。まだ幼い頃に水銀に汚染 『あなたたち大人は何をして 「今、水俣の裁判闘争の先

「特集ワイド」へ ご意見、ご感想を t.yukan@mainichi.co.jp ファクス03・3212・0279

の対立で得をするのは誰?